

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：社会福祉法人 三愛園 児童養護施設 三愛園	種別：児童養護施設
施設長氏名：杉山 洋	定員： 30 名
所在地：松山市和田甲125番地	TEL 089-994-0550

### ③実施調査日

平成26年 7月28日（月）～ 29日（火）

### ④総評

#### ◇特に評価が高い点

昭和26年に設立以来1法人1施設で運営され、平成17年に小規模グループケア棟を新設するなど県内でいち早く小規模化への取組みを行っている。子どもの人数に対する職員数比率は県内で一番多く、きめ細やかな対応がなされており高く評価できる。

子ども一人ひとりに対し細やかな対応が行えるよう職員間の連携を大切にしており、情報を共有しながら養育・支援に取り組んでいる。また、当施設の施設長を中心に、愛媛県内の他の児童養護施設等との連携や、各職種・職員のスキルアップに貢献している。

施設の今後の課題や問題点を把握し、質の高い施設運営を目指している。

#### ◇改善が求められる点

子どもの健全な育成を第一に考え様々な取組みがなされているが、文書化されていない項目が多く、養育・支援の基本姿勢、自立支援計画の活用、中・長期計画の具体的策定などの明文化が望まれる。人材確保や職員スキルのボトムアップ等、さらなる取組みの充実を期待したい。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

- ・全般に文書化・マニュアル化・明文化できていない項目が多く、全体の評価を下げている。順次、整備をしていきたい。
- ・自立支援計画等、長年取り組んでいるが、「a」に届かないままの項目もある。改めて課題を整理し直し、計画的に進めていきたい。
- ・日常業務等のマニュアル化は現場職員の声を集めて「現場で作り上げる」方向で進めたい。

### ⑥第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止め、子どもを理解している。	a・ <b>b</b> ・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ <b>b</b> ・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	<b>a</b> ・b・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ <b>b</b> ・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>朝礼や職員会議で子どもの言動や行動の変化について、職員間の情報交換・共有を密にしながら支援が行われている。一人ひとりの発達段階や特性の理解に努め、家庭に近い環境で養育支援が行われるよう配慮がなされている。</p> <p>今後は、子どもの発達段階に応じて多様なニーズに応えられるよう、検討がされることを期待したい。</p>	

(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	<b>a</b> ・b・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	<b>a</b> ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・ <b>b</b> ・c
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	<b>a</b> ・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・ <b>b</b> ・c
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・ <b>b</b> ・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	<b>a</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>小規模化の利点を生かし、職員と子どもが家庭的な雰囲気の中で基本的な生活習慣が身につけられるよう配慮がなされている。</p> <p>今後は、さらに安心・安全な環境づくりに努め、一人ひとりの発達に応じた衣類、居室の整理等への支援の充実を期待したい。</p>	

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a・Ⓑ・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>性に関する教育に関して、職員自ら研修に参加するなど積極的に取り組みがなされている。子どもの健康状態が把握され適切な対応を取っているが、より一層、医療機関と連携を密にし、子ども一人ひとりの心身の健康をチェックする体制を強化していくよう期待したい。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・Ⓑ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	Ⓐ・b・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・Ⓑ・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・Ⓑ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>子どもの自主性を重んじ、規律や規則で縛らないよう配慮がされている。シャンプーなどの日用品等、子どもの好みや使い勝手等を考慮しながら、可能な限り個人の所有としているが、さらに検討を重ね他児との共有を少なくしていくよう、今後の取組みに期待したい。</p>	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・Ⓑ・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

子ども一人ひとりの居場所を確保し、学習に集中できる環境を整えている。進路に関して、子どもの希望に沿って支援は行われており、きめ細かな個別対応ができています。

職場実習や職場体験については、子どものニーズに対応できるよう実習先や体験先を確保するなど、より一層の取組みを期待したい。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	<b>a</b> ・b・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・ <b>b</b> ・c
(11) 心理的ケア	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
子どもの問題行動について、その行動に至るまでの背景を分析し職員間で協議を重ね、施設全体で対応している。	
心理職による心理的ケアが丁寧に行われている。今後は、さらに心理職と職員の連携や共通理解を深め、充実した心理ケアが行えるよう取組みに期待したい。	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	<b>a</b> ・b・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
子どもの状況に合わせ、自立に向けた支援は、途切れることのないよう行われている。	
措置変更後の生活がスムーズに行えるよう、児童相談所や関係機関と連携を取りながらより良い支援に心がけている。	
業務量的に厳しい面もあるが、今後、施設の役割として退所後の子どもへのアフターケア機能について検討する機会を設けるよう期待したい。	

## 2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもと家族の関係調整において積極的に取り組みがなされている。          今後は、家庭支専門相談員の役割を保護者へも説明し、親子関係の再構築に向けてさらに取り組みがなされることを期待したい。</p>	

## 3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子ども一人ひとりのアセスメントは幅広い視点で行われ、子どもの現状や今後の課題が詳しく分析され、きめ細やかな養育・支援が行われている。          今後はアセスメントで得た情報や課題が自立支援計画に反映され、児童記録などにも活かされるよう期待したい。</p>	

## 4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a・b・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・b・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・b・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a・b・c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a・b・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・b・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>小規模化によりきめ細やかな対応がなされ、施設全体で一人ひとりの子どもを尊重した支援が実践されている。</p> <p>今後は、子ども自身が生活に関する改善などに、自主的に関わっていけるような支援が行われるよう期待したい。</p>	
(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・b・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されるに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・b・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・b・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・b・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・b・c

<b>(6) 被措置児童等虐待対応</b>	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	Ⓐ・－・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・Ⓑ・c
<b>(7) 他者の尊重</b>	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	Ⓐ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもからの要望、質問などに対して職員と直接話しができる雰囲気づくりに努められ安心して過ごせるよう配慮している。</p> <p>様々な生活体験、人生経験を積んだ高齢者の方との交流や知的障害者の方との交流など多くの人たちと接する機会を設けるなどして他者への心づかいを育てる支援がなされている。</p>	

## 5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・Ⓑ・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・Ⓑ・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>建物の耐震化、避難ルートの確保などの安全対策はできている。</p> <p>今後は、災害時の地域との連携などあらゆる状況において対応できるようマニュアルを作成する等、さらに体制を強化していくよう取組みに期待したい。</p>	

## 6 関係機関連携・地域支援

<b>(1) 関係機関等の連携</b>	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a・Ⓑ・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	Ⓐ・b・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	Ⓐ・b・c

<b>(2) 地域との交流</b>	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<b>(3) 地域支援</b>	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長を中心として各関係機関との連携を行っており、多方面からの協力を得ながら子どもの養育・支援に取り組んでいる。</p> <p>今後は地域の福祉ニーズを把握し、施設が子育て支援の拠点となるような取組みが行われることを期待したい。</p>	

## 7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員は積極的に外部で行われる研修に参加し、技術や知識の向上を図っている。</p> <p>今後は、職員の教育・研修に対する基本姿勢を明文化し、一人ひとりの経験年数等に合わせた個別的な研修計画の策定、キャリア形成への取組みがなされることを期待したい。</p>	

## 8 施設の運営

<b>(1) 運営理念、基本方針の確立と周知</b>	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c



(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	<b>ⓐ</b> ・b・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設の運営理念に基づき、日々の養育・支援を行っている。          今後は、職員や保護者等が施設の役割や使命を明確に理解できるよう、理念や基本方針を明文化するよう望みたい。          中・長期計画や事業計画については、職員が参画して策定している部分を文書化することによりさらに明確にし、施設の目指すべき方向を全職員で共有するよう期待したい。          現在の職員体制を維持し長期的に見据えた計画を策定し、実行できる仕組みをつくることを期待する。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	<b>ⓐ</b> ・b・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	<b>ⓐ</b> ・b・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	<b>ⓐ</b> ・b・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長自ら養育・支援の質の向上を目指し、他機関と連携しながら幅広い人脈を活用して指導をしている。          今後は、業務の効率化について施設全体の課題として職員が共有し、改善に向けて取り組んで行けるよう、体制づくりに期待したい。          外部の専門家による監査については、施設運営の透明性をさらに確保する観点から、可能な限り実施できるよう今後の取組みに期待したい。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・㉑・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a・㉑・c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・㉑・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・㉑・c
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・㉑・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>小規模化を見据えて子どもの人数に対して職員を多く配置しており、勤務体制も配慮されている。</p> <p>今後は職員の就業状況を定期的に把握・分析し、見直しや改善について検討するよう取組みに期待したい。</p>	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a・㉑・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・㉑・c
(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	a・㉑・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a・㉑・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>養育・支援に関して経験年数の豊富な職員により先進的な取組みをしている。養育・支援の高機能化(虐待児ケアや発達障害児ケア)を図るために、現在の養育・支援内容の振り返りと課題を整理・分析する等、今後の取組みに期待したい。</p> <p>各項目ごとの評価基準や第三者評価の結果を参考に、施設運営や養育・支援の内容、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善実施計画を作成・実施する等、サービスの質の向上に向けて取り組むことを期待したい。</p>	